


令和7年度 消費生活（後期）第3回手引き

設 問	教科書・ くらしの豆知識	学習のポイント
<p>① 社会保障と公的支援について、支援策について答えなさい。</p> <p>(1)「社会保障制度」</p> <p>(2)貯蓄と保険の備えについて</p> <p>(3)公的年金について考える</p> <p>(4)公的年金の受給開始は？</p> <p>★(5)「R7国民年金保険料の納付額」は各自で調べます。</p> <p>(6)「高額療養費制度」について</p> 	<p>レポート別資料②</p> <p>くらし P.88</p> <p>・インターネット等を使用してもよい。</p>	<p>レポート別資料②を準備しましょう。</p> <p>(1)「社会保障制度」には社会保険、社会福祉、公的扶助、保健医療・公衆衛生の4つの柱があります。</p> <p>(2)</p> <p>(5)働いている人が毎月定額の保険料を納め、将来高齢者となった時に受け取る仕組み。</p> <p>(6)「高額療養費制度」は収入や年齢によって負担額が変わります。1ヶ月あたりの医療費の自己負担が額を超えると払い戻されるので負担が軽減されます。</p>
<p>② 金融商品について</p> <p>(1)金融商品は色々なリスクが合わさっている。</p> <p>(2) 電子商取引</p> <p>(3)現役世代の老後の資金作り</p> <p>(4)クレジットカードは利用法を間違くと家計が破綻してしまう</p>	<p>教 P.106～</p> <p>くらし P.82～</p> <p>(2)教 P.106～</p> <p>(3)くらし P.88～89</p> <p>(4)教 P.112～</p>	<p>賢い消費者になるためには、自分の金銭管理ができることも必要です。教科書をよく読んで答えましょう。</p> <p>(3) NISA や IDeCo は将来の年金では不安な時のための個人積み立てとなります。</p>
<p>③「4章くらしのマナーガイド」を読み考えましょう。</p> <p>④多様化する支払い方法と資金調達について</p> <p>⑤「成年年齢の引き下げ～特別編」について</p>	<p>(1)くらし P.74～</p> <p>(4)くらし P.90～91</p> <p>教 P.109～</p> <p>レポート別資料③</p>	<p>キャッシュレス社会となり、さまざまな問題が多発してきています。見えないお金は「見える化」する事が大切です。</p>

※ 後期第3回レポート提出期限 : R7年12月17日(水)

空欄はありませんか？封筒に入れる前にしっかり見直しましょう！

第22回消費者力検定の結果は12月末です。期待して待ちましょう。

添削担当 家庭科 高本